

2023年10月27日

「女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査（2023年）」について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）の子会社である常陽産業研究所（代表取締役社長 下山田 和司）は、このたび、「女性活躍・ダイバーシティに関する企業調査（2023年）」を実施しましたので、その結果を下記のとおりお知らせいたします。

当社は、地域のシンクタンクとして各種調査研究および総合金融サービスの提供を通じ、今後とも、地域の課題解決のためのさまざまな情報発信および取り組みを展開し、地域の成長と活性化に貢献してまいります。

記

1. 調査結果

当社では、「茨城県内主要企業の経営動向調査（2023年7～9月期）」の特別調査として、「女性活躍」および「ダイバーシティ&インクルージョン」（以下、D&I）の取り組み状況などに関する調査を実施しました。女性活躍の調査は4回目、D&Iの調査は2回目となります。

県内企業における女性活躍の取組率は49.7%と、2年連続で低下し、5割を下回りました。また、女性活躍を除くD&Iの取組率は15.0%に留まりました。業種や企業規模別にみると、製造業や中小企業を中心に、女性活躍・D&Iの取組率が足踏みしている様子がうかがえます。

経済活動の正常化等を受けて人手不足が深刻化する中、人材確保の観点からも、女性活躍やD&Iの取組意義は増えています。今後は、業種や規模を問わず、幅広い企業において、女性活躍・D&Iの取組の開始ないし拡大がより一層求められるとみられます。

なお、調査結果の詳細は別紙を参照してください。

2. 調査の特徴

本調査は、2023年9月に茨城県内企業197社（製造業85社、非製造業112社）からの回答を取りまとめたものです。従業員300人以上の大企業から、30人未満の企業まで幅広く調査対象としています。

以 上

本件に対するご照会は、下記までお願いいたします
常陽産業研究所 地域研究部 地域研究センター：茂木・荒澤
029-233-6734